

第2学年 特別活動（学級活動）学習指導案

日 時 平成16年8月31日（火）5校時
児 童 水沢市立水沢南小学校2年2組
男16名 女16名 計32名
指導者 金野 由香里

1 題材名 カップまつりをしよう

2 題材について

(1) 題材観

特別活動の目標は、小学校学習指導要領において「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」と示されている。この目標は、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事のそれぞれの特質、活動内容が効果的に展開されて実現されるものである。

学級活動の内容は、

- (1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること。
学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理など
- (2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること。
希望や目標を持って生きる態度の形成、基本的な生活習慣の形成、望ましい人間関係の育成、学校図書館の利用、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、学校給食と望ましい食習慣の形成など

の2つであるが、特に「子供の自発的、自治的な活動を重視する」といった観点から、活動内容(1)に重点を置いている。従って、低学年から段階的に、教師の適切な指導のもとに、自発的、自治的な活動が効果的に展開されることが望まれる。

本題材では、学校・学年で行われる「プール納め」とは別に、学級でも独自の「プール納め(カップまつり)」をしようということで取り組んでいく。記録や結果だけにこだわらず、全員が楽しめる内容を出し合い、実践していく中で、「友達とのかかわりを深めること」をねらいとした。また、2年生という発達段階や子供の実態を考慮しながらも、低学年なりの「話し合いの技能の向上」を目指し、本題材を設定した。

(2) 児童観

5月に「議長」「副議長」「書記」を選出してから今日まで、子供たちは「学級会のしおり」に従って話し合い活動を行ってきた。基本的な話し合いの指導を行ってからまだ日も浅く、低学年ということもあって、幼稚で短絡的な内容が支持されたり、話が横道にそれたりと、課題も非常に多いが、子供たちなりに真剣に考え、話し合いを進めている。好奇心が旺盛で、何か新しいことに挑戦するのが大好きな子供たちは、週一回程度の学級活動の時間を大変楽しみにしている。一生懸命話し合う姿は実に微笑ましく、また頼もしくさえ感じる。

これまで、「話し合い 実践 反省」という一連の流れに基づき、「遠足」、「廊下歩行と靴揃え」、「お楽しみ会をしよう(転校生を迎える会)」の話し合い活動を行った。初めのうちは自分の考えに固執したり、発言力のある子供の意見に流されたりすることが多かったが、徐々に一人一人が考え、よりよい意見にまとめていこうとする姿が見られるようになってきた。例えば、「お楽しみ会をしよう(転校生を迎える会)」では、「外国からの転校生だから、外国の歌で迎えてあげよう」、「初めに自己紹介と握手をして、早く仲良くなりたい」などの

「友達との関わり」を大切にしたい意見が全員に支持され、実行された。転校生の子供も大変喜んでおり、その姿を見て子供たちも大満足の様子であった。僅かではあるが、学級の友達と力を合わせることの素晴らしさ、めあてに向かって最後までやり遂げることの大切さを理

解できたのではないかと考える。

話し合いの中では発言する子供に偏りがあり、自分の考えを発言しない子供もいる。また話し方や聞き方もまだまだ不十分で、「話す人の方を向いて聞くこと」や「大きな声で最後まで自分の考えを伝えること」は折に触れて指導をしている最中である。また、内容によっては、途端に興味を示さなくなったり、難しすぎて考えがまとまらなかったりして、話し合いが成り立たなくなる場合が多く、落ち着いて話を聞いたり、集中して考えたりすることが課題と言える。

(3) 指導観

集団としてのまとまりが不完全で、グループや個人の興味・関心、利害に左右されることが多い子供たちの発達的特質をまず理解することが大切であると考え。そのため、教師側で、話し合いの進行や司会役について率先して模範を示し、手順や運営にも慣れさせいく必要がある。また、話し合い活動を自分達の力で運営する上で、「学級会の基本的な型」の習得は必要不可欠である。そのため、「学級会のしおり」を全員に配布し、一人一人がそれを拠所として発言ができるようにしていきたい。

水遊びが大好きな子供たちであるが、それでもやはり個人差はある。水に対する抵抗感を少なからず抱いている子、スイミングスクールに通い50m以上泳げる子など、その差は非常に大きい。そこで、事前に、「みんなが楽しめるとはどういうことなのか」、「どうしたら思い出に残る会になりそうか」を学級会で話し合い、「カップまつり」のめあてを全員で確認していきたい。

その際、決まっためあては、小黒板に記録し、学級に数日間掲示しておく。小黒板の前で子供たちは、カップまつりのイメージを膨らませたり、自分の考えをまとめたり、あるいは友達同士意見を交換し合ったりするであろう。子供たちの様子や小さなつぶやきも大切にしていきたい。

本時の授業に関わって、まず何と言っても大切なのが、「みんなが楽しめる」という視点である。長い距離を泳げる人も、水が苦手な人も等しく楽しむ権利があるということ、安全で楽しい会でなければ思い出に残らないことなどを強く意識させていかなければならない。掲示している小黒板は子供たちの考えの拠所となるよう、再度利用する。話し合いの途中でも、個人的に、あるいは全体の場でめあてを振り返らせ、話し合いの軌道修正をしていきたいと考える。

友達の話を聞くことも、話し合い活動においては大切である。話し合い活動を始めて間もない子供たちであるからこそ、友達の話を聞き、互いに技術を学びあう必要がある。話を聞くときは、話す友達の方を見ながら聞くことも合わせて指導していきたい。

また、意欲的で知的好奇心が旺盛なこの時期の子供たちの特性を生かし、よい発言や姿勢、話の聞き方の模範となった子供を大いに褒め、その場で学級全体に紹介したり、通信等で家庭に紹介したりすることにより、更なる話し合い活動に対する意欲につなげていきたい。

3 題材の目標

- ・学級独自の「プール納め(カップまつり)」の内容を考え、実施する活動を通して、友達と一緒に成し遂げる楽しさや喜びを味わわせるとともに、子供たち同士が互いに認め合い、協力し合おうとする態度を育てる。
- ・話し合い活動を通して、基本的な話し合いの進めかたを理解させ、話し合いや集会など集団活動を進めるために必要な話し合いの技能を身に付けさせていく。

4 題材に関する指導計画

月 日	時 間	参加児童	主 な 活 動	教 師 の 支 援
7月26日(月)	帰りの会	全員	議題を提案する。	2学期に行う「カップまつり」に向け、夏休み中のプール遊びを推進し、意欲化を図る。
8月24日(火)	学級活動	全員	「カップまつり」のめあてについて話し合う。	みんなが楽しむためには、どのようなことに気をつければよいのかを考えさせる。
8月27日(金)	休み時間	議長	話し合いの計画を立てる。	話し合う内容を明らかにし、話し合いの全体的なイメージがもてるようにする。
8月30日(月)	帰りの会	全員	話し合う内容を発表し、自分の意見を持つ。	前回の学級活動を想起させ、ねらいに沿って考えるよう助言する。
8月31日(火) (本 時)	学級活動	全員	「カップまつり」の内容について話し合う。	前回の学級活動を想起させ、ねらいに沿って考えるよう助言する。 全員が楽しむことができるものという視点を与える。 「学級会のしおり」をもとに、安心して話し合いができるようにする。
9月1日(水)	学級活動	全員	計画に基づいて準備を行う。	必要な道具や準備物を明らかにし、全員が何らかの形で関れるよう支援する。
9月3日(金)	体育	全員	「カップまつり」の実施	めあてに沿って、楽しく活動できるように配慮し、成就感を味わえるようにする。
9月3日(金)	帰りの会	全員	活動の振り返りをし、感想を書く。	子供たちの当日の頑張りとともに、これまでのめあてに向かっての話し合い活動についての努力を認め、次回の意欲につなげる。

<p>展</p> <p>開</p> <p>(30)</p>	<p>まとめ合う</p> <p>チーム分け</p> <p>8 決まったことの発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級としての考えにまとめる。 ・ 同じ手順で話し合う。 ・ 決まったことをノート書記が発表する。 	<p>友達の話真剣に聞くようにさせる。 友達の意見と比べ、意見を出している子を大いに褒める。</p> <p>「みんなが楽しめる」という視点に沿い、自分の考えに修正を加えながら話し合いを行っているか。 (全体での話し合い活動)</p> <p>多様な考えを認めながらも、みんなが納得して決定できるように支援していく。</p> <p>時間がない場合は、次回に話し合うことを議長に伝えさせる。 時間がある場合は、プログラムについての意見も聞く。</p> <p>必要に応じて助言を加えながら、大きな声で自信を持って発表できるようにさせる。</p> <p>・学級会ノート(ノート書記)</p>
<p>終</p> <p>末</p> <p>(7)</p>	<p>9 感想・反省</p> <p>10 先生から</p> <p>11 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのめあてに沿い、簡単な自己評価をする。 ・感想や反省を発表する。 ・議長が「発言大賞」を発表する。 ・「聞き方賞」「発言キラリ賞」を教師の方で発表する。 	<p>話し合いのめあてに沿った自己評価や発表ができるように必要に応じて助言を加える。</p> <p>・学級会のしおり「自己評価のページ」・筆記用具</p> <p>話し合いの内容、係の役割、発言や話の聞き方の様子について認め、今後の意欲につなげる。 よかった点や今後の課題をわかりやすく伝える。</p> <p>「聞き方賞」「発言キラリ賞」を教師の方で発表し、自信につなげる。</p>

(3) 評価

- ・自分の考えにこだわり過ぎたり、友人関係に左右されたりせずに、「みんなが楽しめるかどうか」という視点に沿って話し合いを進めようとしてたか。

(4) 板書計画

(小黒板)

話し合い	ぎだい カップまつりをしよう ていあんりゆう	めあて	だい 回二年二くみ学きゅう会
1 どんなことをしたいか			
2 チーム分け			
3 プログラム			

カップまつりのめあて
気をつけることなど

(6) その他

・本題材までの学級活動に関わる取り組みの内容

月 日	時 間	参加児童	主 な 活 動	教 師 の 支 援
5月6日(木)	学級活動	全員	議長・副議長・書記の選出	好き嫌いにとらわれず、できる力があるかどうか、やる気があるかどうかで判断するよう助言する。
5月13日(木)	学級活動	全員	「楽しい遠足にしよう」 遠足のめあてや約束を決める。	「学級会のしおり」に基づいて、基本的な話し合いの型を指導する。 重点…話し合いの型の指導
5月13日(木)	昼休み	議長 書記	学級会の進め方の確認・練習をする。	それぞれの仕事について説明を加える。 「学級会のしおり」に基づいて、話し方・記録のとり方の練習をする。 重点…議長・書記の指導
5月20日(木)	学級活動	全員	遠足についての反省をする。	「学級会のしおり」に基づいて、基本的な話し合いの型を指導する。 重点…話し合いの型の指導
6月10日(木)	学級活動	全員	「廊下歩行と靴揃えを守ろう」 取り組み方を話し合う。	提案理由に基づいた話し合いができるよう、助言を加えながら話し合いを進めさせる。 重点…視点にそった話し合いの指導
6月11日(金) ～	休み時間 登校時	点検担当 全員	廊下歩行点検 靴揃えポスター作り (男子1枚、女子1枚)	話し合いに基づいた準備・点検をさせる。 全員で力を合わせて活動できているかどうか見守る。 重点…話し合いから実践までの流れの指導
6月18日(金)	帰りの会	全員	「廊下歩点検」「靴揃え」 の反省	子供たちの頑張りを認め、今後も反省を生かし、めあてにそった行動をするよう励ます。 重点…実践から反省までの流れの指導
6月23日(水)	特別活動	全員	「自分の身を守るために」 ～防犯教室～	真剣に話しを聞くようにさせる。

7月1日(木) 7月2日(金)	学級活動	全員	「お楽しみ会をしよう」 転校生を迎える会の内容を 話し合う。	「転校生が楽しめる内容か どうか」を常に考えながら 話し合えるよう支援する。 重点... <u>友達との関りを大切 にした話し合いの指 導</u>
7月8日(木)	学級活動 休み時間	全員 進行係	お楽しみ会に必要な準備や 会の進め方の確認をする。	通し練習で、子供が困って いる時は助言を加える。 声の大きさや挨拶の内容の 指導をする。 重点... <u>話し合いから実践ま での流れの指導</u>
7月9日(金)	音楽	全員	「 ちゃんと仲良くなる うパーティー」	めあてを確認し、めあてに そっていない発言や行動に は指導を加える。 楽しい雰囲気の中、会が進 行できるように見守る。 転校生の子が気後れしない ように配慮する。
7月12日(月)	学級活動	全員	お楽しみ会の反省	子供たちの頑張りを認め、 今後も友達との関りを常に 考え行動するよう励ます。 重点... <u>実践から反省までの 流れの指導</u>

参考資料（評価について）

自分の考えにこだわり過ぎたり、友人関係に左右されたりせず、「みんなが楽しめるかどうか」という視点に沿って話し合いを進めようとする。	
満足できる	努力が必要
視点に沿って話し合いを進めようとしていたことを大いに褒め、更なる意欲化を図る。	話し合いを中断し、視点に沿った意見かどうかを考えさせたり、時には間違いを正したりしながら、視点についての意識化を図る。



がっきゅうかい

学級会のきまり

みんな

1. みんなのはなしを よくきく。
2. 大きなこえで はっきり言う。
3. いやいやはなさない。
4. 「はい」は一かいしか言わない。
5. じぶんのかんがえを出す。
6. 人のいけんは わらわない。
7. きまったことは よろこんでまもる。



学級会とは、クラスを
いまよりも たのしくて
すばらしいものにするた
め、みんなのかんがえを
出しあっていく、はなし
あいのことだよ！

ぎちょう（はなしあいをすすめる人）

ぎちょう	ふくぎちょう
1. 大きなこえで、はっきり言う。	1. 大きなこえで、はっきり言う。
2. みんなにあてる。	2. はなしあいのすすめかたをときどき ぎちょうとそうだんする。
3. まとめながら、はなしあいをすすめる。	3. はつげんした人に まるをつける。
4. べつな はなしをしない。	4. じかんをしらせる。
5. いけんを たくさんきいてからきめる。	

しよき（^{がっきゅうかい}学級会のきろくをする人）

1. 学級会できたことを きろくする。
2. きれいな字でかく。
3. きまったことを みんなのまえで、大きな声で読む。



はつげんのしかた



ていあん（こうすればいいとおもうこと）
.....のことについて、こうしたらいい
とおもいます。
そのわけは、.....だからです。
だから、.....とていあんしました。

しつもん（ききたいこと）
○○さんに、しつもんがあります。
.....のところはどういうことですか。
もういちど、せつめいしてください。
わかりました。

さんせい（おなじかんがえのとき）
○○さんのいけんにさんせいです。（○○
さんとおなじかんがえです。）
そのわけは、.....だからです。

はんたい（ちがうかんがえのとき）

〇〇さんのいけんにはんたいです。（〇〇さんとちがうかんがえです。）

そのわけは、.....だからです。

つけたし

〇〇さんのいけんに つけたします。

〇〇さんのいけんと おなじようですが、
.....だとおもいます。

まずは、よくかんがえて
じぶんのいけんを もと
う。そのつぎに、おとも
だちのいけんをよくきき、
じぶんのかんがえと く
らべてみようね。おなじ
かな？ちがうかな？





はなしあいを試みよう!

はじめのことば	<ul style="list-style-type: none">・これからだい〇かい2年2くみ学級会をはじめます。
うた	<ul style="list-style-type: none">・〇〇のうたを、げんきよくうたいましょう。
はなしあいのめあて	<ul style="list-style-type: none">・きょうのはなしあいのめあては、「……………」です。しっかりまもりましよう。
かかりのしょうかい	<ul style="list-style-type: none">・ぎちょうの〇〇です。・ふくぎちょうの〇〇です。・しょきの〇〇です。
きょうのぎだい	<ul style="list-style-type: none">・きょうのぎ代いは、「……………」です。先生、ぎ代いを出したわけをおねがいします。・先生にききたいことは、ありませんか。

<p>はなしあいの すすめかた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ それではこれから、はなしあいに入ります。はじめに、「...」についてはなしあいます。つぎに、「.....」についてはなしあいます。いいですか。
<p>はなしあい について</p> <p>について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ はじめに、「.....」についてはなしあってもらいます。いけんをだしてください。 ・ グループで○ふんかん、はなしあってください。 ・ ○はんから はっぴょうしてください。 ・ ききたいことは ありませんか。 ・ それでは、○○さん(○はん)に さんせいいけんがおおいので、きめてもいいですか。 ・ それでは、 については、「.....」にきまりました。 ・ とおなじ
<p>きまったこと のはっぴょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ きょうきまったことを、しよきの○○さん、はっぴょうしてください。

かんそう はんせい	<ul style="list-style-type: none"> ・かんそうをはっぴょうしてください。 ・これから気をつけたいことはありませんか。
先生から	<ul style="list-style-type: none"> ・先生おねがいします。
おわりのことば	<ul style="list-style-type: none"> ・これで、だい〇かい2年2くみ学級会を終わります。



はじめのうちは、
このしおりを見ながら
はなしあいをすすめて
みよう！つづけていく
うちに、じょうずに
はなしあいができる
ようになるよ！



はなしあいを ふかめよう！

こんなじゅんじょで はなしあってみよう！

出しあい

・ぎだいについて、じぶんやはんのかんがえを 出しあう。

しかい「.....について はなしあいます。いけんを出して
ください」

みんな「.....がいいとおもいます」

「.....につけたします」

くらべあい

・ともだちのかんがえとじぶんのかんがえを よくくらべ
てみる。

しかい「さんせいいけん、はんたいいいけんを出して、それ
ぞれのいけんを くらべてみましょう」

みんな「.....にさんせいです。そのわけは.....だからです」

「.....にはんたいです。そのわけは.....だからです」

「.....につけたします。そのわけは.....だからです」

学びあい

・ほかのかんがえのよいところをかんがえて、じぶんのかんがえをかえたり、もっとよくしたりする。

しかい「それぞれのいけんで、よいところや なおしたほうがいいところを はなしあいましょう」

みんな「.....はいいですが、.....にははんたいです」

「.....のほうがよいとおもうので、.....にかえます」

まとめあい

・たすうけつにたよらないで、はなしあいをまとめる。

しかい「いけんをまとめます。どのようにまとめればよいとおもいますか」

みんな「...と...をあわせて、.....とすればよいとおもいます」

「...のほうがよいとおもうので、...のほうのかんがえに さんせいします」

まとめかたには

かんがえをくみあわせて
一つにする。

どちらかに ゆずる。

ためしに やってみて
から きめる。

たすうけつ

があるんだよ。



学級会のきろく

月 日 ()



きまったこと

.....

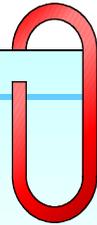
.....

.....

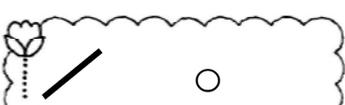
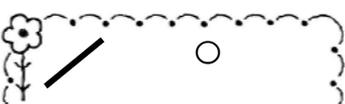
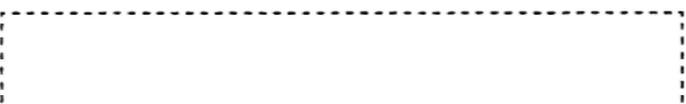
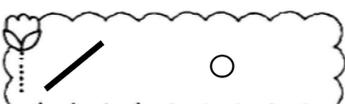
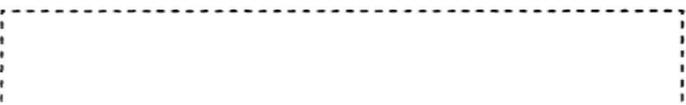
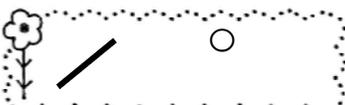
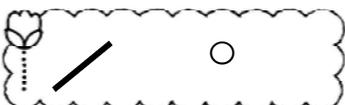
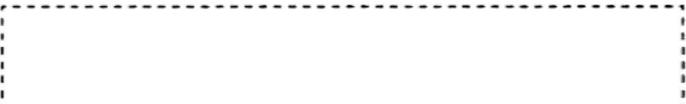
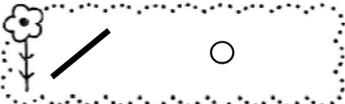
.....

.....

.....



学級会のはんせいをしよう



話し合いのすすめかたカード

はんちょうさんが話し合いをすすめましょう。
自分の考えをまず話しましょう。

「ぼく・わたしは...がいいとおもいます。わけは...だからです」
友だちの考え（わけも）を、じゅんばんにききましょう。

「　　さんは、どうおもいますか」
しつもんがないかどうかききましょう。

「何かしつもんはありませんか」
話し合いましょう。

「どの考えがいいですか」
みんながいいとおもう考えにまとめましょう。

「それでは、.....にきめたいとおもいます。いいですか」

